



美容に関する都道府県ランキング

「美容室の1回あたり利用金額」上位は北陸2県が独占

1位「福井県」9,125円、2位「富山県」9,071円

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、過去1年間の美容サロン*利用における美容意識・実態を都道府県別に集計し、ランキング化しました。その結果をご報告いたします。*美容サロン…美容室、ネイルサロン、エステサロン、リラクゼーションサロン、アイビューティーサロン

【美容室】1回あたり利用金額ランキング (TOP10)

※美容室の過去1年利用者が対象（実数回答）

順位	都道府県	利用金額	集計数
1位	福井県	9,125円	354
2位	富山県	9,071円	344
3位	三重県	8,976円	525
4位	愛知県	8,946円	517
5位	鳥根県	8,853円	352
6位	石川県	8,734円	352
7位	山梨県	8,686円	341
8位	東京都	8,599円	495
9位	岐阜県	8,552円	505
10位	滋賀県	8,547円	538

【美容室】過去1年の利用総額ランキング (TOP10)

※美容室の過去1年利用者が対象

1回あたりの利用金額（実数回答）×年間利用回数（実数回答）

順位	都道府県	利用総額	集計数
1位	東京都	3万8,569円	495
2位	鳥根県	3万6,563円	352
3位	三重県	3万6,029円	525
4位	高知県	3万5,829円	347
5位	富山県	3万4,320円	344
6位	群馬県	3万3,897円	507
7位	愛媛県	3万3,634円	340
8位	大分県	3万3,611円	346
9位	福井県	3万3,460円	354
10位	石川県	3万3,188円	352

研究員からのコメント

美容室の1回あたりの利用金額は、全国平均でここ10年の過去最高額を更新しました。（「美容センサス2022年上期＜美容室・理容室編＞」）今回1位の「福井県」、2位の「富山県」は、「共働き世帯比率」（「2017年就業構造基本調査」）が、福井県は1位、富山県は3位。3世帯の同居率が高く、子育てしながら働きやすい地域ともいわれています。この女性の就業率の高さが「身だしなみを整える」意識を高めることにつながり、ひいては美容室1回あたり利用金額を押し上げているのではと考えます。また、北陸地方は結婚式が豪華な文化もありますので、他者への意識や外見の美容に対する関心が高いのかもしれません。過去1年間の利用総額1位の東京都は、明るい髪色の「ハイトーンカラー」が流行のため、カラーリングの来店頻度が全国1位（次頁参照）です。サロンへの来店頻度が多いため、年間の支払額が大きくなっています。



『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■メニュー別年間利用回数ランキング

「カラー」「トリートメント」の1人あたり年間利用回数は、「東京都」がトップ。

カラー※ ¹				トリートメント※ ²			
年間利用回数 (TOP5)				年間利用回数 (TOP5)			
順位	都道府県	利用回数	集計数	順位	都道府県	利用回数	集計数
1位	東京都	4.33回	495	1位	東京都	3.80回	495
2位	群馬県	4.17回	507	2位	高知県	3.69回	347
3位	三重県	4.12回	525	3位	兵庫県	3.57回	475
4位	愛媛県	4.03回	340	4位	群馬県	3.54回	507
5位	宮城県	3.97回	480	4位	島根県	3.54回	352

※¹「カラー実施者」が対象（実数回答）、カラーは「カラー（フルカラー）」「カラー（リタッチ）」の合計

※²「トリートメント実施者」が対象（実数回答）

研究員からのコメント

「カラー」「トリートメント」とも利用回数1位は東京都。背景には、「ハイトーンカラー」や「ブリーチ」の流行で、高単価にもかかわらずサロンでのカラーリング頻度が上昇していることや、カラーリングで傷んだ髪のカケアにトリートメントの利用が増えていることがあるようです。

（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

■美容サロン利用率（過去1年の利用率） ※各サロン単一回答

ネイルサロン、エステサロン（脱毛）、アイビューティーサロンの1位には「沖縄県」がランクイン。

ネイルサロン				エステサロン（脱毛）				アイビューティーサロン			
過去1年の利用率 (TOP5)				過去1年の利用率 (TOP5)				過去1年の利用率 (TOP5)			
順位	都道府県	利用率	集計数	順位	都道府県	利用率	集計数	順位	都道府県	利用率	集計数
1位	沖縄県	18.0%	400	1位	沖縄県	26.5%	400	1位	沖縄県	19.0%	400
2位	東京都	17.7%	600	2位	東京都	25.2%	600	2位	愛媛県	18.8%	400
3位	北海道	15.0%	600	3位	宮城県	21.5%	600	3位	東京都	18.2%	600
4位	大阪府	14.5%	600	4位	三重県	21.0%	600	4位	静岡県	17.7%	600
4位	愛媛県	14.5%	400	5位	鳥取県	20.9%	400	5位	石川県	17.0%	400
								5位	三重県	17.0%	600
								5位	大分県	17.0%	400

研究員からのコメント

ネイルサロン、エステサロン（脱毛）、アイビューティーサロンの過去1年間の利用で、東京都を抑えて1位にランクインしたのは沖縄県。沖縄県では、1年を通して平均気温が高く、他の県と比較しても半袖でいる期間が長いこと、マリンスポーツなどの文化性からもボディケア（脱毛）への意識が高いことがその背景の一つにあると考えます。

また観光業が盛んで、かりゆしウェアをはじめとしたカジュアルな服装が一般的なため、ネイルやアイビューティーなど外見の美容への意識が高いのかもしれませんが。

（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

■調査概要

調査名：「都道府県別」20代・30代女性の美容意識・実態調査

調査手法：インターネットリサーチ

調査時期：2022年2月25日（金）～3月8日（火）

調査対象：全国の20～39歳の女性（回収サンプル23,361）

※都道府県の都市規模に応じて、n=600、または、n=400の目標値を設定。

※回収が目標に届かなかった秋田県、福井県、山梨県、鳥取県、島根県、徳島県、高知県、佐賀県、宮崎県は、ウェイトバック集計による補正を行った。

詳細はこちら：<https://hba.beauty.hotpepper.jp/search/census/2022-pre/40541/>

■調査背景

全国に25万軒以上ある美容室および美容サロンでの消費は、日常生活に「なくてはならない消費」として、コロナ禍においても利用が大きく落ち込むことはなく、むしろ美容室の利用金額は年々増加しています。さらに、消費の方法は大都市発信のトレンドによるものだけでなく、日常生活に根付いたエリアごとの消費特性がうかがえます。今回の調査によって、美容サロンの皆さまに結果を参考にいただき、都道府県ごとの消費者の美容サロンに対する満足度向上につながるようニーズを明らかにしました。

■『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに2014年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センスなどの「調査研究」、訪問美容の情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。

<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>